

事務連絡

平成24年4月25日

各課室長様

消防本部次長

平成24年度消防防災・震災対策現況調査の統計作成について（依頼）

標記の件につきまして、別添のとおり宮崎県危機管理統括監より依頼がありました。つきましては、下記の要領に基づきまして統計を各課室にて作成していただき、御回答くださいますようお願いいたします。

記

1.統計作成について

統計の修正につきましては、昨年度、提出したデータを配布しますので朱書きにて統計を訂正していただき、提出していただきますようお願いいたします。

2.提出期限

平成24年5月23日（水）

3.提出先

消防本部 総務課 総務係 まで

※ 不明な点がございましたら総務係までお問い合わせください。

【文書取扱】

消防本部 総務課 総務係

薬師寺 勇樹

内線 (77)312

22170-2084
平成24年4月24日

各消防本部消防長
各市町村消防主管課長 } 殿

宮崎県危機管理統括監
(公印省略)

平成24年度消防防災・震災対策現況調査の実施について(依頼)

このことについて、別添のとおり総務省消防庁防災情報室長から依頼がありましたのでお知らせいたします。

入力要領等に留意の上、登録締切日までに、統計調査系システム(消防庁オンライン処理システム)上の「消防防災・震災対策現況調査業務」に入力いただきますようお願いいたします。

担 当:消防保安課 消防担当 中原
TEL:0985-26-7627 (直通)
FAX:0985-26-7304
E-mail:nakahara-yoichi@pref.miyazaki.lg.jp

消防情第126号

平成24年4月24日

各都道府県消防防災主管部長 殿

消防庁防災情報室長



平成24年度消防防災・震災対策現況調査の実施について（依頼）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、当庁の事業推進について格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、平成24年度消防防災・震災対策現況調査について、下記のとおり実施いたします。
つきましては、貴都道府県内市町村等（消防の事務を処理する一部事務組合及び広域連合を含む。）に対して、この旨周知されるようお願いいたします。

記

1 概要

本調査は、消防庁が発行する「地方防災行政の現況」等の基礎資料とするため、統計調査系システム（消防庁オンライン処理システム）上の「消防防災・震災対策現況調査業務」に入力をお願いするものです。

2 調査対象

本調査は、都道府県及び平成24年4月1日現在における市町村、消防組合、消防補償等組合（消防団員、水防団員の公務災害補償・退職報償金の事務を行っている組合）（以下「各団体」という。）が調査対象となります。

このことから、市町村合併の取扱については、平成23年度中又は平成24年4月1日付で市町村合併があった場合、平成23年4月1日から平成24年4月1日までの調査については、平成24年4月1日現在の新団体名で、合併前の個々の市町村等の分を算出し、合併後の数に合算して作成してください。

また、平成24年4月2日から平成24年5月1日までに合併がある場合は、平成24年4月1日から平成24年5月1日までの調査については、平成24年4月1日現在の旧団体ごとに、集計して作成してください。

3 調査登録開始日及び締切日について

各団体におかれましては、調査登録締切日までに全調査表の本登録を完了願います。

(1) 調査登録開始日

平成24年4月25日（水）

(2) 調査登録締切日

平成24年5月31日（木）

4 精査完了日について

各都道府県におかれましては、平成24年6月21日（木）までに各団体の精査を完了願います。

5 接続先アドレス

以下のアドレスにログイン後、調査業務から「消防防災・震災対策現況調査業務」を選択してください。

※【接続先アドレス】：<https://secure.fdma.go.jp/SSO/>

ログイン方法については、消防庁防災情報室からご連絡いたしました平成24年3月30日付け事務連絡、「統計調査系システムログインについて」をご参照ください。

6 入力要領等

入力要領、操作マニュアル及び突合チェックリストについては、「消防防災・震災対策現況調査業務」のダウンロードメニューからダウンロードできます。都道府県は「都道府県用」、市町村、消防本部等は「市町村・組合用」を該当する調査表の入力時に参照してください。

7 特記事項

- (1) 消防以外の組合の「市町村消防費性質別歳出決算額」は、管轄する都道府県において取りまとめて合算し、調査表選択画面（都道府県用）44表に入力してください。
- (2) 調査表、ページ又は調査項目（以下「調査表等」という。）ごとに該当がない項目については、「該当無」のチェック欄に入力を行ってください。調査表等において、データの入力が全くない場合、「該当無」のチェック欄の入力がないときは仮登録できません。
- (3) 同一の調査表において複数の団体が入力を担当する場合、最終的な入力担当団体を明確にするために「市町村」又は「組合/消防本部」のチェック欄に入力を行ってください。「市町村」又は「組合/消防本部」のチェック欄のどちらかに入力がない場合は仮登録できません。市区町村事務部局、組合、消防本部等が同一の調査表を入力する場合は、十分に連絡調整し、入力漏れのないようにお願いします。
- (4) 全調査表を仮登録しなければ本登録できません。
- (5) ダウンロードメニューに白紙調査表（Excelファイル）を掲載しておりますので、ご利用ください。

※問い合わせ窓口

<入力要領に関する問い合わせ>

(財) 消防科学総合センター 情報処理課 木村

TEL : 0422-24-7802

FAX : 0422-49-1182

E-mail : kimura@isad.or.jp

<システムの操作方法に関する問い合わせ>

西菱電機株式会社 サポートデスク

E-mail : support_fdma@seiryodenki.co.jp

<担 当>

消防庁防災情報室 矢部係長・河田事務官

〒100-8927 東京都千代田区霞が関 2-1-2

TEL : 03-5253-7526

FAX : 03-5253-7536

E-mail : h.kawata@soumu.go.jp

平成24年度 消防防災・震災対策現況調査表（市町村・組合分）

表番号	表題(調査事項)	頁
00表	条件コード表	表紙
00表	ノーパンチ表番号一覧表	表紙
01表	消防本部・署所及び消防団の現況	1
02表	年齢別及び階級別消防吏員数	2
03表	年齢別及び階級別消防団員数	3
04表	消防職員の勤務体制及び適用給料表	4
05表	消防吏員の特殊勤務手当の状況	4
06表	消防吏員の採用試験状況及び採用状況	4
07表	消防吏員の勤務時間等状況	5
08表	消防吏員の時間外勤務時間数及び年次有給休暇取得日数状況	5
09表	安全衛生管理体制等の状況	5
10表	健康診断の実施状況	6
11表	消防長の専・兼任状況	6
12表	非常勤消防団員の報酬及び出動手当等	7
13表	在職年数別消防吏員及び消防団員数	8
14表	退職事由別及び年齢別退職消防吏員数の状況	8
15表	消防団員の退職・新任状況	9
16表	非常勤消防団員の職業構成及び就業形態別の状況	10
17表	消防ポンプ自動車等現行数	11
18表	化学消火薬剤備蓄状況	12
19表	消防水利の現況	12
20表	消防機関の出動状況	13
21表	消防吏員及び消防団員の公務による死傷者数	13
22表	少年消防クラブ及び幼年消防クラブの現況	14
23表	婦人防火クラブの現況	14
24表	防災会館及び地域防災計画等の現況	15
25表	防災・震災対策行政の状況	16
26表	防災・震災訓練の状況	17
27表	災害対策啓発事業の実施状況	18
28表	防災事業の実施状況	18
29表	自主防災組織の現況（その1）	19
30表	自主防災組織の現況（その2）	20
31表	事業所の自衛消防組織の現況	21
32表	災害ボランティア	21
33表	災害危険箇所等の現況	22
34表	相互応援協定の状況	23
35表	避難場所・施設等の現況	24
36表	備蓄等の状況	25
37表	防災無線通信施設等の状況（同報無線）	26
38表	防災無線通信施設等の状況（移動無線等）	27
39表	消防・救急業務用無線通信施設の現況	28
40表	火災通報施設等の現況	29
41表	消防ヘリコプターの状況（その1）	30
42表	消防ヘリコプターの状況（その2）	30
43表	消防ヘリコプターの状況（その3）	31
44表	市町村消防費性質別歳出決算額	32
45表	告発の状況	33
46表	耐震性貯水槽の状況	34
47表	消防団施設・装備の状況	35
49表	防災行政無線の整備状況及び整備検討状況（移動系）	36
50表	防災行政無線の整備状況及び整備検討状況（同報系）	37
51表	防災行政無線の整備状況及び整備検討状況（旧市町村用）	38

【00表 条件コード表】

団体コード	表番号	行番号	消防本部等 等の区分	組合コード 委託先団体コード
	00	000	(1)	(2)

(1) 消防本部等の区分

- 1：単独で消防本部を設置している市
- 2：単独で消防本部を設置している町村
- 3：組合
- 4：組合として消防本部を設置している市町村
- 5：消防事務を委託している市町村
- 6：消防本部未設置の町村（7～9に該当するものを除く。）
- 7：消防本部未設置の町村のうち消防団常備部を設置している町村
- 8：消防本部未設置の町村のうち救急業務のみ実施している町村
- 9：消防本部未設置の町村のうち救急業務のみ委託している町村

【担当：防災情報室】

平成24年度 消防防災・震災対策 市・組

都道府県名	
市町村名 組合名	

消防団係

03表 年齢別及び階級別非常勤消防団員数

(平成23年4月1日現在)

平成23年度 消防防災・震災対策 市・組

団体コード	表番号
452033	03

都道府県名	宮崎県
市町村名 組合名	延岡市

年齢	行番号			小計 (3)~(9)	うち女性消 防団員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢合計
	0	1	0										
18歳未満	0	1	0	0									
18歳	0	2	0	4								4	72
19歳	0	3	0	11							1	10	209
20歳	0	4	0	12							2	10	240
21歳	0	5	0	11							3	8	231
22歳	0	6	0	26							6	20	572
23歳	0	7	0	26						1	5	20	598
24歳	0	8	0	38	1					1	12	25	912
25歳	0	9	0	47							18	29	1175
26歳	1	0	0	50							10	40	1300
27歳	1	1	0	61	1					3	14	44	1647
28歳	1	2	0	74	3					1	21	52	2072
29歳	1	3	0	70	1					4	21	45	2030
30歳	1	4	0	89	1					6	30	53	2670
31歳	1	5	0	96	1					6	40	50	2976
32歳	1	6	0	93	1					6	26	61	2976
33歳	1	7	0	80	2					7	27	46	2640
34歳	1	8	0	94	1					7	34	53	3196
35歳	1	9	0	68	2					6	29	33	2380
36歳	2	0	0	73				1		4	30	38	2628
37歳	2	1	0	66	2				1	6	20	39	2442
38歳	2	2	0	71	1				2	11	15	43	2698
39歳	2	3	0	67	1					6	20	41	2613
40歳	2	4	0	74	3					5	19	50	2960
41歳	2	5	0	61	1				1	6	8	46	2501
42歳	2	6	0	44	3					9	9	26	1848

年齢	行番号			小計 (3)~(9)	うち女性消 防団員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢合計	
	2	7	0											
43歳	2	7	0	68	1				2	1	6	12	47	2924
44歳	2	8	0	51					1	1	6	9	34	2244
45歳	2	9	0	33	2					1	6	6	26	1485
46歳	3	0	0	49	1				3	1	1	11	33	2254
47歳	3	1	0	45					1		7	8	29	2115
48歳	3	2	0	38						1	3	11	23	1824
49歳	3	3	0	49	4				1	2	1	9	36	2401
50歳	3	4	0	31	3						2	7	22	1550
51歳	3	5	0	36	2				1		2	9	24	1836
52歳	3	6	0	33	3				2	1	1	7	22	1716
53歳	3	7	0	21					1	1		6	13	1113
54歳	3	8	0	35	2			1	2		2	3	27	1890
55歳	3	9	0	23	1			1				4	18	1265
56歳	4	0	0	20	2				1	1	1	4	13	1120
57歳	4	1	0	18					2		1	2	13	1026
58歳	4	2	0	18				1	2		1	1	13	1044
59歳	4	3	0	16	2				1			2	13	944
60歳	4	4	0	6	1								6	360
61歳	4	5	0	2								2	122	
62歳	4	6	0	0									0	
63歳	4	7	0	1					1				63	
64歳	4	8	0	1						1			64	
65歳以上	4	9	0	0										
合計	5	0	0	2000	49	1		6	19	14	129	531	1300	74946
うち女性	5	1	0								1	3	45	49

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10)

03表 (平成24年4月1日現在)

年齢	行番号			小計		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢合計	
				全体	35女性									
18歳未満	0	1	0											
18歳	0	2	0	6								6	108	
19歳	0	3	0	13	1						1	12	247	
20歳	0	4	0	15	1					1		14	300	
21歳	0	5	0	20							2	18	420	
22歳	0	6	0	17							3	14	374	
23歳	0	7	0	35						1	8	26	805	
24歳	0	8	0	32						1	5	26	768	
25歳	0	9	0	49	2					2	15	32	1,225	
26歳	1		0	51						2	15	34	1,326	
27歳	1	1	0	56						1	16	39	1,512	
28歳	1	2	0	66	2					4	19	43	1,848	
29歳	1	3	0	75	3					3	24	48	2,175	
30歳	1	4	0	72	1					4	24	44	2,160	
31歳	1	5	0	89	1					3	25	61	2,759	
32歳	1	6	0	99	1					6	31	62	3,168	
33歳	1	7	0	91	1					8	33	50	3,003	
34歳	1	8	0	78	2					6	32	40	2,652	
35歳	1	9	0	90	1					12	32	46	3,150	
36歳	2		0	64	2					7	17	40	2,304	
37歳	2	1	0	65					1	7	24	33	2,405	
38歳	2	2	0	62	2				1	5	26	30	2,356	
39歳	2	3	0	69	1				2	5	17	45	2,691	
40歳	2	4	0	65	1					5	18	42	2,600	
41歳	2	5	0	72	3					6	16	50	2,952	
42歳	2	6	0	61	1				1	4	14	42	2,562	
43歳	2	7	0	40	3					5	5	30	1,720	
44歳	2	8	0	62	1			2	1	6	12	41	2,728	
45歳	2	9	0	48				1	1	9	4	33	2,160	
46歳	3		0	36	2					1	11	24	1,656	
47歳	3	1	0	55	1				3	1	9	37	2,585	
48歳	3	2	0	38				1	1	1	12	23	1,824	
49歳	3	3	0	33					1	1	6	25	1,617	
50歳	3	4	0	52	4			1	2	2	9	38	2,600	
51歳	3	5	0	28	3					1	6	21	1,428	
52歳	3	6	0	34	1			1		1	5	27	1,768	
53歳	3	7	0	31	3				2	1	5	21	1,643	
54歳	3	8	0	20				1	1		6	12	1,080	
55歳	3	9	0	34	2			1	2	2	7	22	1,870	
56歳	4		0	23	1				1		5	17	1,288	
57歳	4	1	0	20	2				1	1	5	12	1,140	
58歳	4	2	0	16					2		4	10	928	
59歳	4	3	0	15					1	2	1	11	885	
60歳	4	4	0	3					1			2	180	
61歳	4	5	0	5	1							5	305	
62歳	4	6	0	2								2	124	
63歳	4	7	0											
64歳	4	8	0	1					1				64	
65歳以上	4	9	0	1		1							65	
合計	全体	5	0	0	2,009	50	1	6	19	15	129	529	1,310	75,528
	35女性	5	1	0						1	4	45		2,070

消防団係

12表 非常勤消防団員の報酬及び出動手当等

(平成23年4月1日現在)

平成23年度 消防防災・震災対策 市・組

都道府県名	宮崎県
市町村名 組合名	延岡市

団体コード	表番号
452033	12

行番号	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	部 員
非常勤消防団員数 (条例定数)	0 1 0	✓ 1	✓ 6	✓ 19	✓ 19	✓ 138
報酬年額(円) (条例・ 規則等で定める額)	0 2 0	✓ 142000	✓ 104000	✓ 87800	✓ 69500	✓ 59000
報酬年間総支給額	0 3 0	✓ 142000	✓ 624000	✓ 1668200	✓ 1320500	✓ 8142000
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)

行番号	団 員	計	水防団員兼務者	出動手当を含んで支給
非常勤消防団員数 (条例定数)	0 1 1	✓ 1474	✓ 2200	2009 2000
報酬年額(円) (条例・ 規則等で定める額)	0 2 1	✓ 27000		1
報酬年間総支給額	0 3 1	✓ 39798000	✓ 71079800	1
	(7)	(8)	(9)	(10)

行番号	出動手当の支給単位	回数、時間及び日額を支給単位としている場合(出動手当:1人1回当たりの額、出動回数:支給単位回数)										報酬年額を含んで支給					
		回数	時間	日額	その他	回数	時間	日額	その他	回数	時間		日額	その他			
条例・規則等で定める 出動手当の額(円)	0 1 2	1	1	1	(*)	✓ 2200	✓ 2200	✓ 1300	✓ 1300	✓ 1300	✓ 1300	✓ 3100	1				
年間延出動回数	0 2 2					1261	1189	1123	759	688	1046	16271	11009	1009	3039	2051	2049
年間総支給額	0 3 2					2774200	2611400	2470600	1050000	894400	8899800	21152300	15001700	1311700	9949400	6358100	6942000
		(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)		

特記事項

↓
該当するものが無いので
削除

総務係 消防団係

13表 在職年数別消防吏員及び消防団員数

(平成23年4月1日現在)

平成23年度 消防防災・震災対策 市・組

団体コード	表番号
452033	13

都道府県名	宮崎県
市町村名 組合名	延岡市

	行番号	計	5年未満		5年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上 20年未満		20年以上 25年未満		25年以上 30年未満		30年以上	
消防吏員	010	162	39	21	27	20	15	11	29							
うち女性	020	1	1													
非常勤消防団員	030	2009	506	408	337	292	198	146	122							
うち女性	040	50	23	5	7	15	0	0	0							
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)							

総務

団係

消防団係

15表 消防団員の退職・新任状況

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

平成23年度 消防防災・震災対策 市・組

都道府県名	宮崎県
市町村名 組合名	延岡市

団体コード	表番号
452033	15

行番号	退職団員数	退職団員数のうち								
		退職事由								
		自己都合	定年等	傷病	公務		死亡	公務		整理統合
010	150	132	17	✓	✓	✓	1	✓	1	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

その他の場合の主な理由(傷病)

その他の場合の主な理由(死亡)

病死 1

行番号	退職団員数のうち								新任団員数	新任団員数のうち								(18)のうち 41歳以上の再入 団員数
	在職年数									年齢								
	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	21歳未満		21歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～40歳	41歳～45歳	46歳～50歳	51歳以上		
011	33	33	13	26	16	10	19	132	24	34	22	17	12	9	8	6	9	
	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	

消防関係

16表 非常勤消防団員の職業構成及び就業形態別等の状況

(平成23年4月1日現在)

平成23年度 消防防災・震災対策 市・組

団体コード	表番号
452033	16

都道府県名	宮崎県
市町村名 組合名	延岡市

行番号	計	職業構成					就業形態				
		公務員			日本郵政グループ	その他	被用者	自営業者	家族従業者	その他	うち学生
		国家公務員	地方公務員	特殊法人等公務員に準ずる職員							
010	2009	0	170	90	19	1730	1531	174	171	133	1
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)

団体コード	表番号
452033	20

20表 消防機関の出動状況

平成22年中 (平成22年1月1日～平成22年12月31日)

都道府県名	宮崎県
市町村名 組合名	延岡市

消防本部・署所 消防団	行番号	計(2)～(14)	火 災		風水害等の災害		演習・訓練等		救 急		救助活動		広報・指導		警防調査		火災調査		
			出動回数	出動延人数	出動回数	出動延人数	出動回数	出動延人数	出動回数	出動延人数	出動回数	出動延人数	出動回数	出動延人数	出動回数	出動延人数	出動回数	出動延人数	出動回数
消防本部・署所	010	7093	54	5	820	4800	68	185	714	54									
	020	24581	713	20	3725	14785	793	217	2761	162									
消防団	030	289	49	15	99	0	5	0	0	0									
	040	8,881	1,403	1,489	3,935	0	25	0	0	0									

消防本部・署所 消防団	行番号	消防-警防 ⁽¹⁾		消防-救助 ⁽²⁾		予防 ⁽³⁾		消防 ⁽⁴⁾		消防-救助 ⁽⁵⁾	
		特別警戒	投 入	投 入	予防査察	誤報等	その他	その他	その他		
消防本部・署所	011	39	5		167	20	162				
	021	158	14		334	81	818				
消防団	031	25	6	33	0	55					
	041	559	119	223	0	1,130					

(10) (11) (12) (13) (14)

総務係 消防団係

21表 消防吏員及び消防団員の公務による死傷者数

平成22年中（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

平成23年度 消防防災・震災対策 市・組

団体コード	表番号
452033	21

都道府県名	宮崎県
市町村名 組合名	延岡市

		行番号	計(2)～(8)	火災	風水害等の災害	救急業務	演習・訓練等	特別警戒	捜索	その他
消防吏員	死者	0	1	0						
	負傷者	0	2	0	1		1			
消防団員	死者	0	3	0						
	負傷者	0	4	0	2	+	1			+
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	

総務
団

その他の場合の主な内容
 消防団活性化大会（ミニバレーボール大会）中における負傷。

消防団係

47表 消防団施設・装備の現況

(平成23年4月1日現在)

団体コード	表番号
452033	47

平成23年度 消防防災・震災対策 市・組

都道府県名	宮崎県
市町村名 消防組合名	延岡市

行番号	消防団施設			消防団設備					
	拠点施設 (詰所等)	車庫又は器具庫	その他	防火衣			連絡用器具		
				防火衣	防火帽(ヘルメット)	防火靴	携帯用無線機	無線受令機	その他
010	88	30		637	2170		✓		✓
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)

行番号	消防団設備											
	救急救助用器具				避難誘導用器具			啓発活動用器具		OA機器		
	エンジンカッター	ジャッキ	バール	担架	応急処置用キット	管成用ロープ	拡声器	応急手当訓練用器具	訓練用消火器	パソコン	ファックス	ビデオカメラ
011				✓	✓	✓	✓	✓	✓			
	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)

44表	市町村消防費性質別歳出決算額	35
45表	告発の状況	37
46表	耐震性貯水槽の状況	37
47表	消防団施設・装備の状況	37
49表	防災行政無線の整備状況及び整備検討状況（移動系）	38
50表	防災行政無線の整備状況及び整備検討状況（同報系）	40
51表	防災行政無線の整備状況及び整備検討状況（旧市町村用）	41

経
理
部
の
関
与
有
り

3 調査対象

平成24年4月1日現在における市町村、消防組合、消防補償等組合（消防団員、水防団員の公務災害補償・退職報償金の事務）を行っている組合並びに水防事務組合（水防及び水害予防業務を行っている組合）に限る。

4 全表の記入上の留意事項

(1) 記入団体関係

原則として次の分担で記入するものとするが、各調査項目について、市町村、組合との間で十分調整のうえ、その事務について責任、分掌している団体が記入するものとし、団体相互間において重複記入及び記入漏れしないよう注意すること。

平成21年度からは、調査表の入力した担当団体を明確にするため、入力担当団体のチェックマークを追加したので全ての調査表の入力担当団体に該当する団体区分のチェックをつけること。また、調査表の入力漏れを防ぐため、該当が無い調査表・項目についても、該当無のチェックをつけたのち調査表の登録を行うものとしたので注意すること。

(2) 市町村合併等の取扱について

平成23年度中または平成24年4月1日付けにて市町村等の合併があった場合、平成23年4月1日～平成24年4月1日までの調査については、平成24年4月1日現在の新市町村名で、合併前の個々の市町村の数字を算出し、合併後の数と合算して作成すること。

平成24年4月2日～平成24年5月1日に合併がある場合、平成24年4月1日～平成24年5月1日までの調査については、平成24年4月1日現在の旧市町村名ごとに、合併前の個々の市町村の数字を算出して報告すること。

【分 担 表】

		単独で消防本部を設置している市町村	組 合		組合を構成している市町村及び消防事務を委託している市町村		消防本部未設置の市町村
			消防団事務及び消防水利事務を行っている場合	消防団事務及び消防水利事務を行っていない場合	消防団事務及び消防水利事務を行っている場合	消防団事務及び消防水利事務を行っていない場合	
00表	全部	○	○	○	○	○	○
01表	(1)～(4)	○	×	×	○	○	○
	(5)～(8)	○	○	○	×	×	×
	(9)～(11)	○	○	×	○	×	○
	(12)～(28)	○	×	×	○	○	○
02表	全部	○	○	○	×	×	×
03表	全部	○	○	×	○	×	○
04表	全部	○	○	○	×	×	×
05表	全部	○	○	○	×	×	×
06表	全部	○	○	○	×	×	×
07表	全部	○	○	○	×	×	×
08表	全部	○	○	○	×	×	×
09表	全部	○	○	○	×	×	×
10表	全部	○	○	○	×	×	×

- ウ 各調査表は、原則として、横の欄を「行」として行番号を、縦の欄を「列」として欄外の（ ）内に列番号を記入してある。
- エ 前年度数値の記入欄がある場合には、「平成 23 年度 消防防災・震災対策現況調査」で報告した数値を転記すること。
- オ 平成 21 年度からは該当の無い調査表についても登録を必須とした為、該当の無い調査表についても該当無のチェックを付けた後、登録すること。

00 表 条件コード表

- 1 「消防本部等の区分」は、下表に基づき、平成 24 年 4 月 1 日現在の該当番号を区分欄に入力すること。

番号	区 分 内 容
1	単独で消防本部を設置している市
2	単独で消防本部を設置している町村
3	組合
4	組合で消防本部を設置している市町村
5	消防事務を委託している市町村
6	消防本部未設置の町村（7～9 に該当するものを除く。）
7	消防本部未設置の町村のうち消防団常備部を設置している町村
8	消防本部未設置の町村のうち救急業務のみ実施している町村
9	消防本部未設置の町村のうち救急業務のみ委託している町村

- 2 「組合コード・委託先団体コード」は、組合を構成している市町村にあっては当該組合のコード番号を、消防事務を委託している市町村にあっては委託先市町村等のコード番号を記入すること。

01 表 消防本部・署所及び消防団の現況

本表は、「消防本部設置年月日」を除き、その他の項目については平成 24 年 4 月 1 日現在について記入すること。

また、(1)～(4)の面積、人口、世帯数については、別途消防庁にて入力するため、ここでは入力不要とする。

- 1 「消防本部設置年月日」は、当該消防本部において予防、警防及び救急業務を開始した（西暦）年月日を記入すること。
 [記入例] 昭和 57 年 4 月 1 日業務開始の場合は、(年)1982 (月)04 (日)01
- 2 「消防署数」は、市町村等の条例で定められている消防署の数を記入すること。
- 3 「出張所数」には、消防出張所（消防ポンプ自動車等とこれを運用するに足る消防職員が常時待機の体制にあるもの）及び分遣所等（1～2 人消防吏員を機関員として常時配置している派出所等）の数、なお、「うち分遣所数」は内書きとする。
- 4 「消防団数」には、各消防団の集合体である連合団は含めないこと。なお、「うち女性を採用している消防団数」には、平成 24 年 4 月 1 日現在に女性消防団員が在職する消防団の数を記入すること。
- 5 「分団数」は、市町村等の規則で定められている分団数を記入すること。
- 6 「常備部消防団数」とは、消防団の組織のうち、火災の警戒及び鎮圧のため、常時消防署に準ずる態勢をとっているものをいう。
- 7 「消防団事務」は、消防団事務（消防団の設置条例、消防団員の定数条例、消防団員の身分取扱いに関する条例、消防団の組織規則等の制定及び運用、消防団の行動についての消防計画の作成、消防団長の任命等をいう。）をどこが行っているかを調査するものであり、下記区分に基づき、該当する事項に「1」と記入すること。
 なお、組合は記入の必要はない。
 (1) 「市町村」とは、消防団事務を市町村で行っている場合。
 (2) 「組合」とは、消防団事務を組合で行っている場合。
 (3) 「委託」とは、消防団事務を委託先で行っている場合。
- 8 「消防水利事務」は、消防水利事務をどこが行っているかを調査するものであり、下記区分に基づき、該当する事項に 1 と記入すること。なお、組合は記入の必要はない。

- (1) 「市町村」とは、消防水利（防火水槽）の設置、維持管理を市町村で行っている場合。
 - (2) 「組合」とは、消防水利（防火水槽）の設置、維持管理を組合で行っている場合。
 - (3) 「委託」とは、消防水利（防火水槽）の設置、維持管理を委託先で行っている場合。
- 9 「地域指定区分内容」は、当該市町村の全域又は一部地域が該当地域として指定されている場合、下記区分に該当する番号に対応する欄に「1」と記入すること。
- なお、重複して指定されている場合にもそれぞれの該当欄に「1」と記入すること。

番号	地域指定区分内容
1	消防施設強化促進法に基づき人口が急増している地域として指定された地域
2	大規模地震対策特別措置法に基づき強化地域に指定された地域
3	過疎地域自立促進特別措置法適用地域
4	離島振興法適用地域
5	石油コンビナート等災害防止法の適用を受ける特別防災区域
6	山村振興法の適用地域
7	林野火災特別地域として設定された地域
8	活動火山対策特別措置法に基づき指定された避難施設緊急整備地域
9	台風常襲地帯における災害の防除に関する特別措置法に基づく台風常襲地帯
10	豪雪地帯対策特別措置法に基づき指定された特別豪雪地域

02 表 年齢別及び階級別消防吏員数

本表は、平成24年4月1日現在に在職する消防吏員数を年齢別及び階級別に記入する（4月1日における休職者、停職者を含み、4月1日付け退職者を除く。）ものであるが、市町村の助役が消防長の事務取扱いとなっている場合等、消防吏員以外の者が消防吏員を兼ねている場合は、消防吏員の数に含めないこと。派遣職員については派遣元の団体において記入すること。

- 1 「年齢」は、平成24年4月1日現在の満年齢によること。
- 2 「年齢合計(13)」は、各行とも年齢に第1列の小計数を乗じたものであること。※自動計算
- 3 「再任用者」は、地方公務員法第28条の4第1項、第28条の5第1項又は第28条の6第1項若しくは第2項の規定により採用した者をいう。

03 表 年齢別及び階級別非常勤消防団員数

本表は、平成24年4月1日現在に在職する非常勤消防団員数を年齢別及び階級別に記入する（4月1日における休職者、停職者を含み、4月1日付け退職者を除く。）ものである。なお、「消防団員の階級の基準（昭和39年12月8日消防庁告示第5号）」第1条に規定のない階級を定めている場合、当該階級に属する者は直近下位の階級に含めて記入すること。（例えば、「副部長」、「副班長」はそれぞれ「班長」、「団員」に含める。）

- 1 「年齢」は、平成24年4月1日現在の満年齢によること。
- 2 「年齢合計(10)」は、各行とも年齢に第1列の小計数を乗じたものであること。なお、「18歳未満」および「65歳以上」については自動計算できないため、入力すること。

04 表 消防職員の勤務体制及び適用給料表

- 1 「職員の内訳」欄は、「02表」に記入した消防吏員について「毎日勤務者」、「2部制勤務者」、「3部制勤務者」及び「その他派遣等職員」に分けてその人数を記入すること。
「その他派遣等」とは、首長部局に派遣されている職員及び消防学校など消防本部（署）以外の部署に勤務する職員（消防学校に入校している職員、消防学校教官、専任の音楽隊員、研究職員等）と定義する。また、「その他の職員」欄には、現に消防本部、消防署に勤務する消防吏員以外の職員数を記入すること。
- 2 「適用給料表」欄は、「02表」に記入した消防吏員に適用している給料表について公安職給料表、行政職給料表に区分してその人数を記入すること。

- 4 「年次有給休暇取得延べ日数」欄は、職員が取得した有給休暇の延べ日数を合計し記入すること。
なお、消防学校入校生も含めて計上すること。
- 5 「年次有給休暇取得延べ日数」については、小数点第1位を四捨五入し記入すること。
- 6 調査対象期間は、「時間外勤務時間数」については、平成23年4月1日～平成24年3月31日とし、「年次有給休暇取得日数」については、平成23年1月1日～平成23年12月31日とすること。

09表 安全衛生管理体制等の状況

本表は、労働安全衛生法の規定に基づいて衛生管理者、衛生推進者、衛生委員会及び産業医の選任または設置を義務づけられている事業場について記載すること。「安全管理規程」、「訓練時安全管理要綱」、「衛生管理規程」についても策定しているものがあれば、「1」を記入すること。また、それに準ずるものがある場合についても同様に記入すること。

- 1 「有無」欄は、策定されている場合に「1」を記入すること
- 2 「策定年月日」欄
〔記入例〕平成19年4月1日策定の場合 (年)2007 (月)04 (日)01

10表 健康診断の実施状況

- 1 調査の対象は、消防吏員とする。
- 2 それぞれの検査項目ごと、平成23年度中に全ての消防吏員に対して何回の検査を実施したかを記入すること。なお、項目以外の健康診断を実施している場合は、その他欄に記載すること。
〔例〕血圧測定を、毎日勤務者に対しては秋に1回、交替制勤務者に対しては春と秋の2回、各部毎にそれぞれ異なる日において実施した場合でも、全ての消防吏員に対して実施した回数は秋に実施した1回のみであるので、血圧測定の欄に「1」と記入する。
- 3 「交替制勤務者等に対して特に実施している健康診断」とは、職員全員を対象にしているもの及び受診が年齢を要件としているもの(35歳以上の職員全員対象等)以外で交替制勤務者(隔日勤務者)、救助隊員、救急隊員、警防隊員であること等を要件に特に実施した健康診断を指すものである。
- 4 健康診断を実施していない本部にあっては、「その他」欄に理由を記入すること。
- 5 必要に応じて別紙を添付し、健康診断の実施状況を明らかにすること。

11表 消防長の専・兼任状況

- 1 「専任」、「兼任」欄のうち、該当する方に「1」を記入すること。
- 2 1で「専任」を選んだ場合は、その消防長の該当する前職すべてに「1」を記入すること。また、1で「兼任」を選んだ場合も、その消防長の該当する兼職すべてに「1」を記入すること。
- 3 兼任で「その他」を選択した場合、欄外に兼っている職を具体的に記入すること。

12表 非常勤消防団員の報酬及び出勤手当等

本表は、「03表」に記入されている非常勤消防団員に対する報酬等の支給状況を記入すること。

- 1 「非常勤消防団員数(条例定数)」は、平成24年4月1日現在の条例で定める非常勤消防団員の定数を記入すること。
- 2 「非常勤消防団員のうち水防団員兼務者」には、消防団員のうち、水防法(昭和24年法律第193号)第6条の規定による水防団長又は水防団員を兼ねている者の数(実員)を記入すること。
- 3 「報酬年額」は、条例・規則等で定める平成24年4月1日現在の報酬額に基づき、それぞれの階級にある者の一人当たり年間支給額を記入すること。条例・規則等に基づき報酬を月額により支給している場合は12倍した額を記入すること。
- 4 「報酬年間総支給額」は、それぞれの階級にある者に対して支払った条例に基づく報酬の年間(4月～3月)支給合計額(実額)を記入すること。
〔例〕分団長の報酬年額が44,000円で、当該団体の分団長が20名であった場合、その20名に支

払った合計の報酬の実額 (880,000 円) を記入する。

- 5 「出勤手当を含んで支給」は、報酬年額に出勤手当を含んで支給している場合に「1」を記入すること。
- 6 「出勤手当支給単位」は、該当する欄に「1」を記入すること。
- 7 「条例・規則等で定める出勤手当の額(円)」については、支給単位が回数、時間及び日数の場合に「1人1回あたりの額」を記入することとし、時間の場合については、出勤手当を支給することとなる単位時間当たりの額を記入すること。
また、「その他」には、火災、風水害その他の災害、警戒、訓練以外の出勤に対しても、条例・規則等で出勤手当の支給を定めている場合に記入すること。
「条例・規則等で定める出勤手当の額」が回数、時間及び日数以外の場合は、条例・規則等で定める「年間1人あたりの額」を(23)列に記入すること。
- 8 「年間延出勤回数」欄について、出勤手当の支給単位が時間の場合は、出勤手当を支給することとなる単位時間を1回と換算し記入すること。
- 9 「年間総支給額」は、それぞれの項目ごとに、条例・規則等に基づく手当の支給総額(実額)を記入すること。
- 10 「1回あたりの出勤手当」の額が、階級、出勤地域、放水の有無等により区別されている場合は、原則として次のとおりとする。
階級—団員の額
出勤地域—区域内出勤の場合の額
放水の有無—放水した場合の額
その他—原則として高い方の額
- 11 「報酬年額を含んで支給」は、出勤手当に報酬年額を含んで支給している場合に「1」を記入すること。

13 表 在職年数別消防吏員及び消防団員数

- 1 「在職年数」は、平成24年4月1日現在における消防在職年数によること。
- 2 消防吏員については消防本部・署又は警察官署において消防吏員又は消防官若しくは警察官の身分をもち消防業務に従事した期間を、消防団員については、消防団員(警防団員、消防組員を含む)の身分をもち消防業務に従事した期間をいうこと。なお、この期間はそれぞれ相互に通算して差し支えないものであること。また、兵役については、次によること。
 - (1) 消防団員として就任する前に兵役についた場合には、その兵役が解除されてから1年以内に消防団員として就任した場合に限り、その兵役期間を消防団員として在職した期間に通算又は合算する。
 - (2) 消防団員として在職中に兵役についた場合には、その兵役期間は消防団員として在職した期間とみなす。

14 表 退職事由別及び年齢別退職消防吏員数の状況

本表は、平成23年4月1日から平成24年3月31日までの期間に退職した消防吏員の数を退職事由別及び年齢別に記入すること。

- 1 「自己都合」とは、転職、自営業、就学等「2」以下に掲げる事由以外の事由により退職した場合をいうこと。
- 2 「定年等」とは、高齢による勧奨退職による場合をいうこと。
- 3 「傷病」とは、傷病によって消防の職務に従事でき難い事由により退職した場合をいうこと。
- 4 「死亡」欄中「公務」のうちには、公務により負傷した後死亡した場合を含むこと。また、「自殺」の欄には、それぞれの内数を記入すること。
- 5 「免職等」とは、地方公務員法第28条及び第29条に基づき免職及び失職した場合をいうこと。

15 表 消防団員の退職・新任状況

本表は、平成23年4月1日から平成24年3月31日までの期間に退職した消防団員の数を退職事由

別に記入し、また、新任された消防団員数を年齢別に記入すること。

- 1 「自己都合」とは、転職、自営業、就学等「2」以下に掲げる事由以外の事由により退職した場合をいうこと。
- 2 「定年等」とは、高齢による勸奨退職による場合をいうこと。
- 3 「傷病」とは、傷病によって消防の職務に従事でき難い事由により退職した場合をいうこと。
- 4 「死亡」欄中「公務」のうちには、公務により負傷した後死亡した場合を含むこと。
- 5 「整理統合」とは、消防団の再編成又は統合による場合をいうこと。

16 表 非常勤消防団員の職業構成及び就業形態別等の状況

本表は、平成24年4月1日現在の実態に基づき記入すること。

- 1 職業構成
平成24年4月1日現在職業に就いていない場合、及び、この表中の区分に属さない場合は、「その他」欄に記入すること。
なお、日本標準産業分類に基づく区分は、廃止したこと。
- 2 就業形態
就業形態の分類は、平成17年国勢調査に用いたもので、次の(1)～(4)に従い、記入すること。
 - (1) 被用者
会社員、工員、公務員、団体職員、個人商店の従業員、住み込みの家事手伝い、日雇い、臨時雇い等、会社、団体、個人や官公庁に雇用されている人で、役員でない者。
 - (2) 自営業者
個人経営の商店主、工場主、農業主等の事業主や開業医、弁護士等で被用者がいる者。
また、個人経営の商店主、工場主、農業主等の事業主や開業医、弁護士、著述家、家政婦等で個人又は家族だけで事業を営んでいる者。
 - (3) 家族従業者
農家や個人商店等で、農仕事や店の仕事などを手伝っている者。
 - (4) その他
会社の社長、取締役、監査役、団体の理事、監事、公団や事業団の総裁、理事、監事等の役員である者。
家庭内で賃仕事（家庭内職）をしている者、職業に就いていない者又は専業主婦等、この表中他の区分に属さない者。
また、「うち学生」には、平成24年4月1日現在職業に就いていない大学生・短期大学生・専門学校生等の人数を記入すること。

17 表 消防ポンプ自動車等現有数

本表は、平成24年4月1日現在の使用可能な状態にある消防車両等（救急自動車・救助工作車は除く）の現有数を記入すること。なお、起震車以外の車両は緊急自動車として認められているものであること。

- 1 「普通消防ポンプ自動車」及び「水槽付消防ポンプ自動車」は、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）第16条の規定によるB1級以上の放水能力を有するものとする。
- 2 「はしご付消防自動車」及び「屈折はしご付消防自動車」の級別は、次のとおりとし、地上高とは、はしごの最大起立角度で全部を伸張した場合における地表面からはしごの先端までの垂直高さをいう。

級 別	地 上 高
18m級以下	10m以上 24m未満
24m級	24m以上 30m未満
30m級	30m以上 38m未満

19 表 消防水利の現況

本表は、平成24年4月1日現在の消防水利の現況を記入すること。

- 1 「消火栓」、「防火水槽」及び「井戸」は、消防法第20条に基づく公設のもの及び同法第21条に基づき消防水利として指定しているもので、消防上使用可能なもの（故障のため一時使用不能なものを含む。）のみとすること。
- 2 「公設消火栓」とは、水道法第24条に基づき設置されたもので、消防水利の基準（昭和39年消防庁告示第7号）第3条第2項に該当し、かつ、同条第1項の能力を有するものをいう。
- 3 「私設消火栓」とは、消防水利の基準第3条第3項に該当するものをいう。
 【参考】 消防水利の基準（抄）
 第3条 消防水利は、常時貯水量が40㎡以上又は取水可能水量が毎分1㎡以上で、かつ、連続40分以上の給水能力を有するものでなければならない。
 2 消火栓は、呼称65の口径を有するもので、直径150mm以上の管に取り付けられていなければならない。ただし、管網の一边が180m以下となるように配管されている場合は、75mm以上とすることができる。
 3 私設消火栓の水源は、5個の私設消火栓を同時に開弁したとき、第1項に規定する給水能力を有するものでなければならない。
- 4 「その他」には、消火栓、20㎡以上の防火水槽及び井戸を除き、消防法第21条に基づき消防水利として指定されたもので、現に消防上使用可能なものの箇所数を記入すること。
- 5 「河川、海、湖」等箇所数の数え方は、取水可能距離の延長280mまでごとに5箇所とすること。
- 6 飲料水兼用とは、水道管と貯水槽が直結し、貯水槽内の水が常時入れ替わり、地震等により水道管の破損があった場合に貯水槽への汚水の流入及び貯水槽からの水の流出を瞬時に遮断し、飲料水として使用できるものをいう。

20 表 消防機関の出動状況

本表は、平成23年中（暦年）において、消防吏員、団員が出動した緊急性の有無を問わず警防、救急、予防業務に関連したすべての出動について記入すること。

- 1 「出動回数」は、緊急出動については、1指令1回を原則とすること。なお、1指令で複数の任務を行った場合（例えば、消火活動と火災調査を1指令で行った場合）、主たる任務によって種別を判定すること。
- 2 「出動延人員」についても、同一人物が複数の任務を行った場合は、主たる任務によって種別を判定すること。
- 3 「火災」には、誤報等による出動は除くこと。
- 4 「救急」については、平成24年度救急業務実施状況調査（消防庁救急企画室の調査）の04表救急出動件数調査、行番号011、列番号(15)の数値と一致させること。
- 5 「救助活動」については、災害現場における救助又は要救助者の生命、身体の危険排除のために出動したものについて記入すること。なお、捜索出動に伴う救助活動、誤報等による出動は除くこと。
- 6 「風水害等の災害」とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、その他異常な自然現象による災害である。
- 7 「演習・訓練等」とは、消防機関又は関係機関と合同して行う演習及び訓練等をいい、消防車両等が出動したものについて記入すること。（消防機関単独で行うものも含む。）
- 8 「広報・指導」とは、住民、自衛消防隊等が行う消防訓練に対する指導又は住民に対する広報活動をいう。
- 9 「警防調査」とは、水利、危険区域、対象物調査等をいう。
- 10 「火災調査」とは、火災の原因、損害調査をいう。
 また、消防常備化市町村の消防団員が消防吏員とともに火災調査を行った場合、消防団員の出動回数等は「その他」に記入すること。
- 11 「特別警戒」とは、火災警報発令時、火災シーズン、台風時、花火大会、祭礼、競馬、競輪、運動競技、催物、歳末等における警戒出動をいう。
- 12 「捜索」とは、山岳遭難、水難、航空機、船舶の捜索をいう。
- 13 「予防査察」には、防火対象物のうち、消防法令により消防用設備等の設置を義務づけられてい

→分団、支団単位で行ったもののみ。
 レポート等も
 夜警は(回)にカウント

る対象物の立入調査回数を1対象物1回として記入すること。なお、同一防火対象物を2日にわたって、ひきつづき立入調査を行った場合、2にかかわらず出動回数を1回とする。

また、消防常備化市町村の消防団員が消防吏員とともに立入検査を行った場合、消防団員の出動回数等は「その他」に記入すること。

- 14 「誤報等」とは、誤報、誤認、いたずら等（救急出場における誤報、いたずらは含まない。）をいう。
- 15 「その他」には、警察との協力、焼跡処理、公共作業、危険排除等この表中他の区分に属さないものをいう。

21 表 消防吏員及び消防団員の公務による死傷者数

本表は、平成23年中（暦年）において公務により発生した消防吏員及び消防団員の死傷者数を、その公務の種別により記入すること。

公務災害として認定されたもののほか、申請中のもの、申請予定のものも含めること。

- 1 「死者」には、公務により負傷し、その後死亡した者も含めること。
- 2 「負傷者」とは、公務により負傷した者で、負傷後1週間以上の治療を要したものをいう。

22 表 少年消防クラブ及び幼年消防クラブの現況

本表は、平成24年5月1日現在の少年消防クラブ及び幼年消防クラブの現況について記入すること。

- 1 「少年消防クラブ」とは、少年消防クラブ取扱要綱（昭和25年12月1日国消管発第274号）に基づき、防火思想の普及徹底を図ることを目的として、主に10才以上（小学5年生以上）高校生以下を対象に結成されたクラブをいう。
- 2 「幼年消防クラブ」とは、その名称いかんを問わず、幼年期における防火のしつけ及び防火思想の教育等を図ることを目的として、主に9才以下（小学4年生以下）の児童、幼稚園、保育園の園児等を対象として結成されたクラブのことをいう。
- 3 「少年消防クラブ」及び「幼年消防クラブ」の組織別とは、「少年消防クラブ」の構成単位地区（区域）のことで、事務担当者、予算負担主体の区分のことではない。
- 4 「学校単位」又は「幼稚園保育園単位」とは、幼稚園又は小中学校の校内活動（行事等で園、校外で活動するものを含む。）として行われているもので、単に通学区域が構成単位になっている場合は、「地区単位」に掲記すること。
- 5 「市町村単位」とは、市町村の区域を1つの単位として構成されていること。
- 6 「地区単位」とは、町内会、地区連合会等一定の地域を構成単位としていること。
- 7 指導者数には、消防職員、団員は含まないこと。
- 8 組織数、クラブ員数及び指導者数の記入の際は、前年数値と比較し激増、激減の場合は注意すること。
- 9 「少年消防クラブ員内訳」について、クラブ員の内「小学生」、「中学生」、「高校生」に該当しない者は全て「その他」に分類すること。

23 表 婦人（女性）防火クラブの現況

本表は、平成24年4月1日現在の婦人（女性）防火クラブの現況について記入すること。

- 1 「婦人（女性）防火クラブ」とは、「クラブ」、「隊」等その名称のいかんを問わず、火災予防思想の普及及び初期消火のための活動等を実施している婦人（女性）の組織（中学生以下の年少者の組織を除く。）で、消防組織法第15条に規定する消防団以外のものをいう。
- 2 表頭の地域区分は次によること。なお、判定が困難な場合は、世帯主の就業人口の多寡により区分すること。
 - (1) 「市街地」とは、当該市町村の中心となるべきところで、家屋が密集して形成されている地域をいう。
 - (2) 「農山村地域」とは、農業又は林業を主たる生業としている世帯で形成されている地域をいう。

(3) 「普通建設事業費」の「その他」

決算統計 11 表 1 列 160 行～180 行の合計額を、「消防本部・署費」、「消防団費」、「その他」にはその内訳をそれぞれ記入すること。

10 「その他(f)」

決算統計 11 表 1 列 210 行～240 行の合計の額を、「消防本部・署費」、「消防団費」、「その他」にはその内訳をそれぞれ記入すること。

45 表 告発の状況

本表は、平成 23 年中(暦年)において、消防本部・署及びその他の消防機関が消防法(以下「法」という。)に関する違反事項に関して行った告発のうち、警防に関する告発の件数(起訴、不起訴は問わない)について記入すること。

- 1 「望楼、警鐘台の損壊等」は、法第 18 条第 1 項に基づく望楼、警鐘台の損壊等をいう。
- 2 「火災報知器等の損壊等」は、法第 18 条第 1 項に基づく火災報知器等の損壊等をいう。
- 3 「望楼、火災報知器等の使用及び使用妨害」は、法第 18 条第 1 項に基づく望楼、火災報知器等の使用及び使用妨害をいう。
- 4 「消防車優先通行」は、法第 26 条第 1 項に基づく消防車優先通行の故意妨害をいう。
- 5 「応急消防協力者」は、法第 29 条第 5 項(第 36 条に基づき準用する場合も含む)に基づく応急消防協力者への妨害をいう。
- 6 「消防信号等」は、法第 18 条第 2 項に基づく消防信号等の使用禁止違反をいう。
- 7 「指定消防水利変更等」は、法第 21 条第 3 項に基づく指定水利変更等届出義務違反をいう。
- 8 「火災の虚偽通報」は、法第 24 条第 1 項(第 36 条に基づき準用する場合も含む)に基づくものをいう。
- 9 「消防警戒区域」は、法第 28 条第 1 項及び 2 項(第 36 条に基づき準用する場合も含む)に基づき消防警戒区域からの退去命令、出入り禁止又は制限違反をいう。
1 人の行為者を複数の違反行為で告発した場合は、該当する全ての欄に件数を計上すること。
複数の行為者を同一の違反行為で告発した場合は、1 人につき 1 件として件数を計上すること。

46 表 耐震性貯水槽の状況

本表は、平成 24 年 4 月 1 日現在における市町村の耐震性貯水槽の現況について記入すること。

- 1 「耐震性貯水槽」
 - (1) 消防防災施設整備補助金交付要綱別表 2 の「第 2 耐震性貯水槽の規格」に規定する規格又はこれに準じた規格により整備された耐震性貯水槽とする。
 - (2) 国庫補助事業により整備した耐震性貯水槽のほか、単独事業で整備した耐震性貯水槽を含む。
 - (3) なお、自主防災組織が使用する等の用件に関わらず、また、「防火水槽」、「耐震性防火水槽」等の呼称の違いに関わらず、前期(1)の性承を有するものを計上すること。
 - (4) 「飲料水兼用型」にあつては、消防水利に指定されているものはもとより、水道事業部局、建設部局において管理しているものを含めて計上すること。
- 2 「基数」

耐震性貯水槽の基数を計上すること。計上に当たっては、市町村と消防本部が同一の耐震性貯水槽を各々重複計上することのないよう連絡調整を行うこと。
なお、消防庁補助事業により整備した耐震性貯水槽は、補助事業の実績報告書と整合を図ること。

47 表 消防団施設・装備の状況

本表は、平成 24 年 4 月 1 日現在における整備数について記入すること。

- 1 「消防団施設」
 - (1) 「拠点施設(詰所等)」とは、消防防災用車両、資器材等が収容でき、待機室等の消防団活動の拠点となる施設を備えたものをいう。
 - (2) 「車庫又は器具庫」とは、消防防災用車両、資器材等の収容等に使用されているもので、消防団員の

待機等のための施設が備わっていないものをいう。

- (3)「その他」とは、その他施設（コミュニティセンター、防災センター等）の一部に消防団用のスペースを常時確保している場合などをいう。

2 「消防団設備」

消防団設備については各々の個数を記入する。

- (1)「防火衣」のうち「防火衣」、「防火帽」、「防火靴」とは、消防団員服制基準に定めるものとする。

(2)「連絡用器具」のうち

「携帯用無線機」とは、送受信が可能な無線機をいう。

「無線受令機」とは、受信のみが可能な無線機をいう。

「その他」とは、携帯用無線機、無線受令機以外の個人連絡用器具（ポケットベル・携帯電話等）で、消防団の装備として保有するものをいう。

(3)「救急救助用器具」のうち

「エンジンカッター」、「ジャッキ」、「バール」とは、主に救助活動（訓練含む）に使用するものをいう。

「担架」、「救急処置セット」とは、主に救急活動（訓練含む）に使用するものをいう。

(4)「避難誘導用器具」のうち

「警戒用ロープ」とは、災害現場等での消防警戒区域の設定に使用するものをいう。

(5)「啓発活動用器具」のうち

「応急手当訓練用資器財」とは、心肺蘇生法訓練人形（レサシアン等）等をいう。

「訓練用消火器」とは、主に住民への訓練指導時に使用する消火器をいう。

(6)「OA機器」のうち

「パソコン」、「ファックス」、「ビデオカメラ」とは、形式及び年式に関わらず消防団が保有するものをいう。

49 表 防災行政無線の整備状況及び整備検討状況（移動系）

本表は、平成 24 年 3 月 31 日現在の防災行政無線（移動系）における整備状況及び整備検討状況について記入すること。

1 「整備の有無」

移動系防災行政無線を整備している場合は、「1」を記入すること。

合併した旧市町村については、調査基準日現在の状況として記入すること。

2 「運用開始年月日（現在の無線施設）」

現在運用中の無線施設の運用開始について、西暦表示で記入すること。

合併した旧市町村で複数の無線施設を運用している場合は、最も古いものについて、現在の市町村欄に記入する。

3 「アナログ/デジタル方式の別」

該当するいずれかひとつの方式に「1」を記入すること。

「デジタル」とは、移動系親局や基地局からデジタル方式の電波を発射するものをいう。

（例：電波の型式が「G」又は「D」の冒頭の記号で表記されたものをいう。）

なお、制御卓のみをデジタル対応とするものや、アナログ方式であって選択呼出方法にデジタル信号を使用するものは含まないものとする。

4 「移動系/地域防災系の利用の別」

移動系の利用状況について、市町村庁舎の所属を中心に利用か、あるいは、市町村の庁舎のほか防災関係機関や生活関連機関を含めた利用か、該当する欄に「1」を記入すること。

5 「整備予定」

- (1)「運用予定年月日」欄は、運用予定年月日について、西暦表示で記入すること。

- (2)「計画等の有無」は、無線整備計画等の計画が有る場合は「1」を記入すること。

- (3)「整備方式の別」欄は、該当する欄に「1」を記入すること。

- (4)「移動系/地域防災系の利用の別」欄は、移動系の計画状況について、市町村庁舎の所属を中心に利用か、あるいは、市町村の庁舎のほか防災関係機関や生活関連機関を含めた利用か、該当する欄に「1」を記入すること。

- (5)「整備進捗状況」欄は、該当する欄に「1」を記入すること。

6 「防災行政無線（同報系、移動系）以外の防災情報伝達手段」

03表

年齢	行番号			小計		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢合計	
				全体	うち女性									
18歳未満	0	1	0											
18歳	0	2	0	6								6	108	
19歳	0	3	0	13	1						1	12	247	
20歳	0	4	0	15	1					1		14	300	
21歳	0	5	0	20							2	18	420	
22歳	0	6	0	17							3	14	374	
23歳	0	7	0	35						1	8	26	805	
24歳	0	8	0	32						1	5	26	768	
25歳	0	9	0	49	2					2	15	32	1,225	
26歳	1		0	51						2	15	34	1,326	
27歳	1	1	0	56						1	16	39	1,512	
28歳	1	2	0	66	2					4	19	43	1,848	
29歳	1	3	0	75	3					3	24	48	2,175	
30歳	1	4	0	72	1					4	24	44	2,160	
31歳	1	5	0	89	1					3	25	61	2,759	
32歳	1	6	0	99	1					6	31	62	3,168	
33歳	1	7	0	91	1					8	33	50	3,003	
34歳	1	8	0	78	2					6	32	40	2,652	
35歳	1	9	0	90	1					12	32	46	3,150	
36歳	2		0	64	2					7	17	40	2,304	
37歳	2	1	0	65					1	7	24	33	2,405	
38歳	2	2	0	62	2				1	5	26	30	2,356	
39歳	2	3	0	69	1				2	5	17	45	2,691	
40歳	2	4	0	65	1					5	18	42	2,600	
41歳	2	5	0	72	3					6	16	50	2,952	
42歳	2	6	0	61	1				1	4	14	42	2,562	
43歳	2	7	0	40	3					5	5	30	1,720	
44歳	2	8	0	62	1			2	1	6	12	41	2,728	
45歳	2	9	0	48				1	1	9	4	33	2,160	
46歳	3		0	36	2					1	11	24	1,656	
47歳	3	1	0	55	1			3	1	5	9	37	2,585	
48歳	3	2	0	38				1	1	1	12	23	1,824	
49歳	3	3	0	33					1	1	6	25	1,617	
50歳	3	4	0	52	4			1	2	2	9	38	2,600	
51歳	3	5	0	28	3					1	6	21	1,428	
52歳	3	6	0	34	1			1		1	5	27	1,768	
53歳	3	7	0	31	3			2	1	2	5	21	1,643	
54歳	3	8	0	20				1	1		6	12	1,080	
55歳	3	9	0	34	2			1	2	2	7	22	1,870	
56歳	4		0	23	1			1			5	17	1,288	
57歳	4	1	0	20	2			1	1	1	5	12	1,140	
58歳	4	2	0	16				2			4	10	928	
59歳	4	3	0	15				1	2		1	11	885	
60歳	4	4	0	3				1				2	180	
61歳	4	5	0	5	1							5	305	
62歳	4	6	0	2								2	124	
63歳	4	7	0											
64歳	4	8	0	1				1					64	
65歳以上	4	9	0	1		1							65	
合計	全体	5	0	0	2,009	50	1	6	19	15	129	529	1,310	75,528
	うち女性	5	1	0						1	4	45		2,070

12表

(延岡、北方、北浦、北川)

項目	行番号			団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長
団員数	0	1	0	1	6	19	19	138	543
報酬年額	0	2	0	142,000	104,000	87,800	69,500	59,000	35,700
支給額	0	3	0	142,000	624,000	1,668,200	1,320,500	8,142,000	19,385,100
				0	0	0	0	0	0

項目	行番号			団員	計	水防団員
団員数	0	1	1	1,474	2,200	2,009
報酬年額	0	2	1	27,000		
支給額	0	3	1	39,798,000	71,079,800	

項目	行番号			回数	時間	日額	月額	年額	その他	なし	火災	風水害 その他の災害	警戒	訓練	その他	その他を支給単位としている場合
手当額	0	1	2	1	0	1	0	1	0	0	2,200	2,200	1,300	1,300	1,300	3,100
延出動回数	0	2	2								1,261	1,123	688	16,271	1,009	2,051
支給額	0	3	2								2,774,200	2,470,600	894,400	21,152,300	1,311,700	6,358,100

全体

13表 (在職年数別団員数)

	行番号			計	5年未満	5～10	10～15	15～20	20～25	25～30	30以上
全体	0	3	0	2009	506	408	337	292	198	146	122
うち女性	0	4	0	50	23	5	7	15	0	0	0

15表

行番号			退職団員数	自己都合	定年	傷病	死亡		死亡	公務	その他
							公務	その他			
0	1	0	150	132	17	0	0	0	1	0	1

行番号			退職団員数	5年未満	5～10	10～15	15～20	20～25	25～30	30以上
0	1	1	150	33	33	13	26	16	10	19

行番号			新任団員数	21歳未満	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51歳以上	41歳以上の再入団者数
0	1	1	132	24	34	22	17	12	9	8	6	9

全体

16表

2009

行番号	計	職業構成				就業形態					
		公務員				その他	被用者	自営業者	家族従事者	その他	
		国家公務員	地方公務員	特殊法人等 公務員に準 ずる職員	日本郵政グ ループ						うち学生
0 1 0	2,009	0	170	90	19	1,730	1531	174	171	133	1

20表

	行番号	計	火災	風水害等の 災害	演習訓練	救 急	救助活動	広報指導	警防調査	火災調査
出動回数	0 3 0	287	49	15	99	0	5	0	0	0
出動延人員	0 4 0	8,881	1,403	1,487	3,935	0	25	0	0	0

	行番号	特別警戒	捜索	予防査察	誤報	その他
出動回数	0 3 1	25	6	33	0	55
出動延人員	0 4 1	559	119	223	0	1,130

21表

	行番号	計	火災	風水害等の 災害	救 急	演習訓練	特別警戒	捜索	その他	主な内容
死者	0 3 0	0	0	0	0	0	0	0	0	
負傷者	0 4 0	2	1	0	0	1	0	0	0	鎖骨骨折、掌裂傷

全体

47表

行番号	消防団施設			消防団設備						
	拠点施設 (詰所等)	車庫又は 器具庫	その他	防火衣			連絡用器具			
				防火衣	ヘルメット	防火靴	携帯用無線	無線受令機	その他	
010	88	30	0	637	2170	0	68	0	143	

行番号	消防団設備											
	救急救助器具					避難誘導器具		啓発活動用器具		OA機器		
	エンジンカッター	ジャッキ	バール	担架	応急処置セット	ロープ	拡声器	応急手当訓練用器具	訓練用消火器	パソコン	FAX	ビデオカメラ
011	0	0	0	3	19	19	96	1	5	0	0	0

延岡市消防団幹部選出要綱

(目的)

第一条 この要綱は、延岡市消防団員条例第3条に基づく、消防団長の推薦並びに副団長、正副分団長（以下「団幹部」という）の任命に至る手続きについて定めることを目的とする。

(消防団長推薦)

第二条 次期消防団長は支団長以上が出席する会議において、互選により選出するものとする。

次期消防団長は原則として、支団長以上の中から選出する。

- 2 支団長は支団の代表として、各分団及び各部（団員）の意見を集約し、団長選出会議においてその意見を充分反映させること。
- 3 上記、支団長（6名）による会議において決着がつかない場合は、消防団長を含めた多数決により、決定するものとする。

(任命)

第三条 副団長は、団幹部（経験者を含む）の中から団長が指名し、任命するものとする。

- 2 正副分団長は、各分団の部長の推薦に基づいて、団長が任命するものとする。

附則

この要綱は、平成20年12月12日から施行する。

120.12.12

延岡市消防団幹部選出要綱(案)

(目的)

第一条 この要綱は、延岡市消防団員条例第3条に基づき、消防団長の推薦並びに副団長、正副分団長(以下「団幹部」という)の任命に至る手続きについて定めることを目的とする。

(消防団長推薦)

第二条 次期消防団長は支団長以上が出席する会議において、互選により選出するものとする。

次期消防団長は原則として、支団長以上の中から選出する。

- 2 支団長は支団の代表として、各分団及び各部(団員)の意見を集約し、団長選出会議においてその意見を充分反映させること。
- 3 上記、支団長(6名)による会議において決着がつかない場合は、消防団長を含めた多数決により、決定するものとする。

(任命)

第三条 副団長は、^{(経験者を含む)を入れる}団幹部の中から団長が指名し、任命するものとする。

- 2 正副分団長は、各分団の部長の推薦に基づいて、団長が任命するものとする。

附則

この要綱は、平成20年〇月〇日から施行する。

延岡市消防団顧問設置内規（案）

（趣旨）

第1条 この内規は、延岡市消防団の適正な運営及び管理を目的として、延岡市消防団顧問の任用、職務等に関し必要な事項を定める。

（設置）

第2条 延岡市消防団長が、必要と認める場合において、顧問を設置することができる。

（身分及び要件）

第3条 顧問は、消防団員以外の者とする。団の運営及び管理に精通し、団長に団運営について助言できる豊富な知識及び経験を有する団長経験者とする。

（定員等）

第4条 顧問の定員は、1名とする。顧問の任期は、団長が定める。尚、顧問には、報酬等は支給されない。

（職務）

第5条 顧問は、団長の求めに応じ、次の事項に関する助言を行う。
団の運営、団の活動及び団に関して団長が必要と認めること。
ただし、団の行事、団長に関する公的な会議等には出席しない。

（雑則）

第6条 この内規に定めるもののほか、必要な事項に関しては、その都度団長が定める。

付則

この内規は、平成23年〆月〆日から施行する。

平成24年度水防訓練参加者（消防団）

(9 時現在)

分団	参加者
✓ 東海第1分団	18 名
✓ 東海第2分団	17 名
南浦第1分団	6 名
✓ 南浦第2分団	12 名
✓ 中央分団	15 名
✓ 南方第1分団	15 名
✓ 南方第2分団	16 名
✓ 恒富第1分団	15 名
✓ 恒富第2分団	16 名
✓ 土々呂分団	19 名
✓ 北方(第4支団) 支団長含む	8 名
✓ 北川(第5支団) 支団長含む	10 名
✓ 北浦(第6支団) 支団長含む	10 名
✓ 女性隊	9 名
赤バイ隊	3 名
団長・支団長	4 名
計	193 名

(11 時現在)

分団	参加者
東海第1分団	18 名
東海第2分団	17 名
南浦第1分団	6 名
南浦第2分団	12 名
中央分団	15 名
南方第1分団	15 名
南方第2分団	16 名
恒富第1分団	15 名
恒富第2分団	16 名
土々呂分団	19 名
北方(第4支団) 支団長含む	10 名
北川(第5支団) 支団長含む	10 名
北浦(第6支団) 支団長含む	10 名
女性隊	9 名
赤バイ隊	3 名
団長・支団長	4 名
計	193 名

195

(時現在)

分団	参加者
東海第1分団	名
東海第2分団	名
南浦第1分団	名
南浦第2分団	名
中央分団	名
南方第1分団	名
南方第2分団	名
恒富第1分団	名
恒富第2分団	名
土々呂分団	名
北方(第4支団) 支団長含む	名
北川(第5支団) 支団長含む	名
北浦(第6支団) 支団長含む	名
女性隊	名
赤バイ隊	名
団長・支団長	名
	名

分団長	山田 正一	副分団長	白根 一博
指導員	甲斐 幸弘	指導員	
第1部	2 名	第5部	2 名
第2部	2 名	第8部	2 名
第3部	2 名	第9部	2 名
第4部	3 名	第部	名

平成 24年 5月 20日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 東海第1分団
分団長 濱田正士

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練)・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度 水防訓練
日 時	5月 20日 (日曜日) 9時 30分 ~ 12時 00分
場 所	大貫町 第1五ヶ瀬川市民緑地 (大瀬川左岸河川敷)

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	濱田正士	副分団長	斎藤一博
指導員	甲斐幸弘	指導員	
第 1 部	2 名	第 5 部	2 名
第 2 部	2 名	第 8 部	2 名
第 3 部	2 名	第 9 部	2 名
第 4 部	3 名	第 部	名
		(合 計)	18 名

活動の種別を (消防訓練、災害出場、催物警備、その他) で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成 24年 5月 20日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 東海第2分団

分団長 見延幸

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練)・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度 水防訓練
日 時	5月 20日 (日曜日) 9時 30分 ~ 12時 00分
場 所	大貫町 第1五ヶ瀬川市民緑地 (大瀬川左岸河川敷)

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	見延幸	副分団長	奥村 誠二
指導員	甲斐直樹	指導員	渡辺 昭訓
第 6 部	2 名	第 11 部	2 名
第 6 部 5部	2 名	第 12 部	2 名
第 7 部	3 名	第 部	名
第 10 部	2 名	第 部	名
		(合 計)	17 名

活動の種別を(消防訓練、災害出場、催物警備、その他)で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成 24年 5月 20日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 南浦第1 分団

分団長 _____

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練)・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度 水防訓練
日 時	5月 20日 (日曜日) 9時 30分 ~ 12時 00分
場 所	大貫町 第1五ヶ瀬川市民緑地 (大瀬川左岸河川敷)

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	/	副分団長	
指導員	中島	指導員	
第 54部	2 名	第 部	名
第 55部	2 名	第 部	名
第 部	名	第 部	名
第 部	名	第 部	名
		(合 計)	6 名

活動の種別を (消防訓練、災害出場、催物警備、その他) で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成 24年 5月 20日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 南浦第2 分団

分団長 高木 茂成

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練)・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度 水防訓練
日 時	5月 20日 (日曜日) 9時 30分 ~ 12時 00分
場 所	大貫町 第1五ヶ瀬川市民緑地 (大瀬川左岸河川敷)

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	高木 茂成	副分団長	阿部 典之
指導員	西岡 光男	指導員	
第56部	2 名	第60部	2 名
第57部	1 名	第 部	名
第58部	2 名	第 部	名
第59部	2 名	第 部	名
		(合計)	12 名

活動の種別を(消防訓練、災害出場、催物警備、その他)で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 南方第1 分団

分団長 _____

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練)・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度 水防訓練
日 時	5月 20日 (日曜日) 9時 30分 ~ 12時 00分
場 所	大貫町 第1五ヶ瀬川市民緑地 (大瀬川左岸河川敷)

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長		副分団長	川崎
指導員	佐藤 孝二	指導員	三輪 彰光
第41部	甲斐 寛孝 甲斐 誠 2名	第45部	柳田 功二 佐藤 佑介 2名
第42部	中谷 洋行 柴田 実 2名	第46部	広瀬 治彦 金子 孝正 名
第43部	河津 浩明 柳田 隆司 2名	第 部	名
第44部	佐藤 智明 知久 大陸 2名	第 部	名
		(合計)	15 名

活動の種別を (消防訓練、災害出場、催物警備、その他) で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成 24年 5月 20日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 南方第2 分団

分団長 _____

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練)・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度 水防訓練
日 時	5月 20日 (日曜日) 9時 30分 ~ 12時 00分
場 所	大貫町 第1五ヶ瀬川市民緑地 (大瀬川左岸河川敷)

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	甲斐 浩二	副分団長	工藤 祐弘
指導員		指導員	
第47部	2名	第50部	甲斐 理司 2名
第48部	伊藤 友則 伊藤 良一 2名	第51部	甲斐 佐智男 甲斐 幸見 2名
第49部	松田 成泰 1名	第52部	大野 義浩 中島 誠治 2名
第49部	山本 結幹 1名	第53部	石川 寛也 石川 健太 2名
		(合計)	16名

活動の種別を (消防訓練、災害出場、催物警備、その他) で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成 24年 5月 20日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 中央 分団
分団長 空屋 健司

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練)・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度 水防訓練
日 時	5月 20日 (日曜日) 9時 30分 ~ 12時 00分
場 所	大貫町 第1五ヶ瀬川市民緑地 (大瀬川左岸河川敷)

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	空屋 健司	副分団長	清水 康司
指導員	田中 裕三	指導員	
第13部	2名	第17部	2名
第14部	2名	第18部	2名
第15部	2名	第 部	名
第16部	2名	第 部	名
		(合計)	15名

活動の種別を (消防訓練、災害出場、催物警備、その他) で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成 24年 5月 20日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 恒富第1 分団

分団長 _____

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練)・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度 水防訓練
日 時	5月 20日 (日曜日) 9時 30分 ~ 12時 00分
場 所	大貫町 第1五ヶ瀬川市民緑地 (大瀬川左岸河川敷)

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	白石 - 利	副分団長	吉岡 晃
指導員		指導員	
第 21 部	2 名	第 25 部	3 名
第 22 部	2 名	第 26 部	2 名
第 23 部	2 名	第 27 部	名
第 24 部	2 名	第 部	名
		(合 計)	15 名

活動の種別を (消防訓練、災害出場、催物警備、その他) で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成 24年 5月 20日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 恒富第2 分団

分団長 山本秀輝

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練)・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度 水防訓練
日 時	5月 20日 (日曜日) 9時 30分 ~ 12時 00分
場 所	大貫町 第1五ヶ瀬川市民緑地 (大瀬川左岸河川敷)

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	山本秀輝	副分団長	松本晃寺
指導員		指導員	
第 27 部	2 名	第 31 部	2 名
第 28 部	2 名	第 32 部	2 名
第 29 部	2 名	第 33 部	2 名
第 30 部	2 名	第 部	名
		(合 計)	16 名

活動の種別を(消防訓練、災害出場、催物警備、その他)で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成 24年 5月 20日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 工々呂 分団

分団長 荒木 清

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練)・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度 水防訓練
日 時	5月 20日 (日曜日) 9時 30分 ~ 12時 00分
場 所	大貫町 第1五ヶ瀬川市民緑地 (大瀬川左岸河川敷)

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	荒木 清	副分団長	岩切 寛留
指導員	利田 功二	指導員	×
第 04 部	2 名	第 04 部	2 名
第 05 部	2 名	第 09 部	2 名
第 06 部	2 名	第 20 部	2 名
第 07 部	14 名	第 部	名
		(合 計)	19 名

活動の種別を(消防訓練、災害出場、催物警備、その他)で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成 24年 5月 20日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 第 4 支団

支団長 _____

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練)・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度 水防訓練
日 時	5月 20日 (日曜日) 9時 30分 ~ 12時 00分
場 所	大貫町 第1五ヶ瀬川市民緑地 (大瀬川左岸河川敷)

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	後藤 義昌	副分団長	甲斐 隆夫
指導員 副分団長	亀長 俊裕	指導員 本部	佐藤 浩司
第 4 部	萱野 勝文 名	第 11 部	黒田佳登 名
第 1 部	黒田 浩 名	第 本部	甲斐 啓二 名
第 12 部	川並 浩幸 名	第 部	名
第 2 部	田斐 英二 名	第 部	名
	(合 計)		10 名

活動の種別を(消防訓練、災害出場、催物警備、その他)で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成 24年 5月 20日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 第 5 支団

支団長 矢野 洋一

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練)・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度 水防訓練
日 時	5月 20日 (日曜日) 9時 30分 ~ 12時 00分
場 所	大貫町 第1五ヶ瀬川市民緑地 (大瀬川左岸河川敷)

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	一宮 昭二	副分団長	小野 勝延
指導員		指導員	
第 本 部	/ 名	第 4 部	/ 名
第 5 部	/ 名	第 12 部	/ 名
第 15 部	/ 名	第 14 部	/ 名
第 17 部	/ 名	第 部	名
		(合 計)	/ 名

活動の種別を(消防訓練、災害出場、催物警備、その他)で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成 24年 5月 20日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 第6 支団
支団長 内田 勝成

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練)・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度 水防訓練
日 時	5月 20日 (日曜日) 9時 30分 ~ 12時 00分
場 所	大貫町 第1五ヶ瀬川市民緑地 (大瀬川左岸河川敷)

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	本 3	副分団長	本 1
指導員	1	指導員	
第 4 部	1 名	第 部	名
第 11 部	2 名	第 部	名
第 10 部	1 名	第 部	名
第 本 部	1 名	第 部	名
	(合 計)		(0 名

活動の種別を (消防訓練、災害出場、催物警備、その他) で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成24年6月3日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 東海第1分団

分団長 須田正士

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、（消防訓練・災害出場・催物警備・その他）を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度夏期移動消防学校
日 時	6月 3日（日曜日） 9 時 00分～ 時 分
場 所	消防本部

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	須田正士	副分団長	
指導員	用賀 幸弘	指導員	
第 1 部	5 名	第 5 部	4 名
第 2 部	2 名	第 8 部	9 名
第 3 部	5 名	第 9 部	0 名
第 4 部	8 名	第 部	名
		（ 合 計 ）	35 名

活動の種別を（消防訓練、災害出場、催物警備、その他）で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成24年6月3日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 東海第2 分団

分団長 見玉 延幸

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、（消防訓練・災害出場・催物警備・その他）を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度夏期移動消防学校
日 時	6月 3日（ 日曜日 ） 時 分～ 時 分
場 所	消防署

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	見玉 延幸	副分団長	奥村 誠二
指導員	渡部 昭訓	指導員	
第 6 部	5 名	第 12 部	8 名
第 7 部	4 名	第 6 支部	6 名
第 10 部	3 名	第 部	名
第 11 部	7 名	第 部	名
		(合 計)	36 名

活動の種別を（消防訓練、災害出場、催物警備、その他）で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成24年6月3日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 南浦第1分団

分団長 和 (五)

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、（消防訓練・災害出場・催物警備・その他）を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度夏期移動消防学校
日 時	6月 3日（日曜日） 時 分～ 時 分
場 所	

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長		副分団長	
指導員	2	指導員	
第 54 部	5 名	第 部	名
第 55 部	4 名	第 部	名
第 部	名	第 部	名
第 部	名	第 部	名
		(合計)	12 名

活動の種類を（消防訓練、災害出場、催物警備、その他）で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成24年6月3日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 南浦第2 分団

分団長 高木 茂 成

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、（消防訓練・災害出場・催物警備・その他）を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度夏期移動消防学校
日 時	6月 3日（ 日曜日 ） 時 分～ 時 分
場 所	

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	1	副分団長	1
指導員	1	指導員	
第 56 部	29 名	第 60 部	5 名
第 57 部	3 名	第 部	名
第 58 部	5 名	第 部	名
第 59 部	4 名	第 部	名
		（ 合 計 ）	29 名

活動の種別を（消防訓練、災害出場、催物警備、その他）で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成24年6月3日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 中央 分団

分団長 空屋 健司

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、（消防訓練・災害出場・催物警備・その他）を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度夏期移動消防学校
日 時	6月 3日（ 日曜日 ） 時 分～ 時 分
場 所	

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	<u>空屋 健司</u>	副分団長	<u>清水 厚司</u>
指導員	<u>田上 裕三</u>	指導員	<u>山崎 陽介</u>
第 13 部	4 名	第 17 部	4 名
第 14 部	9 名	第 18 部	6 名
第 15 部	7 名	第 部	名
第 16 部	4 名	第 部	名
		(合 計)	30 名

活動の種別を（消防訓練、災害出場、催物警備、その他）で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成24年6月3日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 南方第1分団

分団長 甲斐義晴 代理 川崎

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度夏期移動消防学校
日 時	6月 3日 (日曜日) 9 時 00 分 ~ 12 時 00 分
場 所	消防本造(屋外訓練所代)

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長		副分団長	川崎 国光
指導員	佐藤 孝二	指導員	三輪 彰宏
第 41 部	2 名 ✓	第 45 部	11 名
第 42 部	9 名 ✓	第 46 部	8 名 ✓
第 43 部	9 名 ✓	第 部	名
第 44 部	2 名 ✓	第 部	名
		(合 計)	44 名

1:00 ±

活動の種別を(消防訓練、災害出場、催物警備、その他)で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成24年6月3日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 南方第2 分団

分団長 甲斐 浩二

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、（消防訓練・災害出場・催物警備・その他）を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度夏期移動消防学校
日 時	6月 3日（ 日曜日 ） 時 分～ 時 分
場 所	

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	甲斐 浩二	副分団長	☆
指導員	甲斐 明	指導員	
第47部	8 名	第51部	5 名
第48部	5 名	第52部	7 名
第49部	3 名	第53部	3 名
第50部	15 名	第 部	名
		(合計)	48 47 名

活動の種別を（消防訓練、災害出場、催物警備、その他）で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成24年6月3日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 恒富第1 分団

分団長 白石 一利

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、（消防訓練・災害出場・催物警備・その他）を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度夏期移動消防学校
日 時	6月 3日（ 日曜日 ） 9 時 00分～ 時 分
場 所	

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	白石 一利	副分団長	吉岡 晃
指導員		指導員	
第 21 部	26 名	第 25 部	2 名
第 22 部	4 名	第 26 部	3 名
第 23 部	9 名	第 部	名
第 24 部	3 名	第 部	名
		(合 計)	30 名

活動の種別を（消防訓練、災害出場、催物警備、その他）で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成24年6月3日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 恒富第2 分団

分団長 山本 秀輝

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、（消防訓練・災害出場・催物警備・その他）を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度夏期移動消防学校
日 時	6月 3日（ 日曜日 ） 時 分～ 時 分
場 所	

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	山本 秀輝	副分団長	松本 晃幸
指導員		指導員	
第 27 部	3 名	第 31 部	5 名
第 28 部	2 名	第 32 部	4 名
第 29 部	4 名	第 33 部	6 名
第 30 部	8 名	第 部	名
		(合 計)	34 名

活動の種別を（消防訓練、災害出場、催物警備、その他）で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成24年6月3日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 土々呂 分団

分団長 _____

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、(消防訓練・災害出場・催物警備・その他)を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度夏期移動消防学校
日 時	6月 3日 (日曜日) 時 分～ 時 分
場 所	

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長	X	副分団長	岩 切 亮 昌
指導員	原 聡 - 郎	指導員	羽 田 正 二
第 34 部	6 名	第 38 部	5 名
第 35 部	5 名	第 39 部	3 名
第 36 部	5 名	第 40 部	5 名
第 37 部	8 名	第 部	名
		(合 計)	40 33 名

活動の種別を(消防訓練、災害出場、催物警備、その他)で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成24年度 夏期移動消防学校参加者（北方）

所属		人数
支団本部		10
北方 第1分団	幹部 指導員	3
	第3部	7
	第4部	8
	第12部	6
	第15部	10
	第18部	2
合計		42名

45

所属		人数
北方 第2分団	幹部 指導員	2
	第1部	10
	第2部	7
	第6部	7
	第7部	5
	第9部	4
	第13部	9
	第17部	10
	合計	54名

合計 54名

所属		人数
北方 第3分団	幹部 指導員	2
	第5部	5
	第8部	7
	第10部	
	第11部	4
	第14部	4
	第16部	2
合計		24名

96
24
110

合計 123

平成24年度 夏期移動消防学校参加者（北川）

所属		人数
支団本部		7
北川 第1分団	幹部 指導員	1
	第1部	5
	第2部	8
	第3部	6
	第11部	13
	第13部	4
	第16部	3
	合計	47名

所属		人数
北川 第2分団	幹部 指導員	2
	第4部	1
	第5部	0
	第12部	89
	第14部	3
	第15部	1
	第17部	23
合計		119名

所属		人数
北川 第3分団	幹部 指導員	2
	第6部	15
	第7部	9
	第8部	10
	第9部	12
	第10部	12
合計		60名

計 126

平成24年度 夏期移動消防学校参加者（北浦）

所属		人数
支団本部		5
北浦 第1分団	幹部 指導員	3
	第1部	
	第5部	
	第6部	1
	第7部	4
	第10部	2
	合計	17 名

所属		人数
北浦 第2分団	幹部 指導員	
	第2部	4
	第3部	
	第9部	4
合計		8 名

所属		人数
北浦 第3分団	幹部 指導員	2
	第4部	5
	第8部	5
	第11部	4
合計		16 名

81

平成24年度 夏期移動消防学校参加者

分 団	参加者数	
団長・支団長	7	名
東海第1分団	35	名
東海第2分団	36	名
南浦第1分団	12	名
南浦第2分団	29	名
中央分団	38	名
南方第1分団	44	名
南方第2分団	48	名
恒富第1分団	30	名
恒富第2分団	34	名
土々呂分団	40	名
北方	123	名
北川	126	名
北浦	41	名
消防団係	2	名
計	645	名
午後（指導員研修）	56（指導員16名）	名

平成 年 月 日

延岡市消防団長 殿

延岡市消防団 分団

分団長 _____

消 防 活 動 報 告 書

下記のとおり、（消防訓練・災害出場・催物警備・その他）を行いましたので報告します

活動内容	平成24年度夏期移動消防学校
日 時	6月 3日（日曜日） 時 分～ 時 分
場 所	野地町（延岡市消防本部）

所 属	氏名又は人数	所 属	氏名又は人数
分団長		副分団長	
指導員		指導員	
第 部	名	第 部	名
第 部	名	第 部	名
第 部	名	第 部	名
第 部	名	第 部	名
		（ 合 計 ）	名

活動の種別を（消防訓練、災害出場、催物警備、その他）で分類して○をつけて下さい。

- 消防訓練 → 規律訓練、放水訓練、水防訓練、移動消防学校、出初式 など
- 災害出場 → 火災、風水害、行方不明者捜索 など
- 催物警備 → 花火大会、地元まつり等の催物警備
- その他 → 上記以外の活動

災害出場の場合は、災害発生後1週間以内に提出して下さい。

平成24年度 冬期移動消防学校参加者

分 団 名	参加者数	
団長・副団長	6	名
東海第1分団	6	名
東海第2分団	6	名
南浦第1分団	1	名
南浦第2分団	7	名
中央分団	10	名
南方第1分団	9	名
南方第2分団	8	名
恒富第1分団	7	名
恒富第2分団	8	名
土々呂分団	12	名
第4支団（北方）	20	名
第5支団（北川）	21	名
第6支団（北浦）	8	名
計	129	名

平成24年度 冬期移動消防学校 出欠確認表

所属		氏名
	団 長	堀 田 祐 吉
第1支団長	副団長	伊 梨 梅 之

所属		氏名
東海 第1分団	分団長	濱田 正士
	副分団長	
	指導員	甲 光 幸 弘
	指導員	
	第1部	安 口 誠
	第2部	
	第3部	吉 田 統
	第4部	宇 江 貴 山
	第5部	黒 木 守
	第8部	
東海 第2分団	分団長	渡 邊 延 幸
	副分団長	
	指導員	
	指導員	
	第6部	渡 邊 直 一
	第7部	大 崎 修 司
	第10部	久 澄 大 輔
	第11部	白 石 幸 徳
	第12部	太 田 悠 一

平成24年度 冬期移動消防学校 出欠確認表

所属		氏名
南浦 第1分団	分団長	和田宗徳一
	副分団長	
	指導員	
	指導員	
	第54部	
	第55部	
南浦 第2分団	分団長	高木 茂 成
	副分団長	阿部 悠之
	指導員	
	第56部	浮田 義一
	第57部	河野 貴則
	第58部	甲斐 辰徳
	第59部	有満 正志
	第60部	磯谷 章臣

平成24年度 冬期移動消防学校 出欠確認表

所属		氏名
南方 第1分団	分団長	欠席
	副分団長	川崎 司亮
	指導員	瀬野 彰宏
	指導員	欠席
	第41部	吉本 充宏
	第42部	柳田 浩典
	第43部	甲斐 浩嗣
	第44部	松田 一真
	第45部	河島 秋人
	第46部	広瀬 貴之
南方 第2分団	分団長	甲斐 浩二
	副分団長	欠席
	指導員	欠
	第47部	甲斐 勇一
	第48部	作藤 友則
	第49部	松岡 佳一
	第50部	平田 哲治
	第51部	甲斐 智男
	第52部	大野 義浩
第53部	甲斐 秀利	

平成24年度 冬期移動消防学校 出欠確認表

所属		氏名
第2支団長	副団長	廣瀬 久駿

所属		氏名
中央分団	分団長	室屋 健司
	副分団長	清 小 康 司
	指導員	田上 裕三
	指導員	山崎 陽介
	第13部	梶本 竜生
	第14部	黒田 勝也
	第15部	田野 世紀
	第16部	今村 真輔
	第17部	桑田 彰則
	第18部	泉 順 博

平成24年度 冬期移動消防学校 出欠確認表

所属		氏名
第3支団長	副団長	

所属		氏名
恒富 第1分団	分団長	欠席
	副分団長	吉岡 晃
	第21部	瀧口 一喜
	第22部	甲斐 寛布
	第23部	宮井 哲郎
	第24部	原田 恵
	第25部	平野 晃
	第26部	稲垣 工才
恒富 第2分団	分団長	欠席
	副分団長	松本 晃彦
	第27部	X
	第28部	石田史郎
	第29部	志倉 正人
	第30部	尾崎 孝誠
	第31部	田吉 正光 芳木 裕二
	第32部	菊池 祥太郎
	第33部	興村 健治

平成24年度 冬期移動消防学校 出欠確認表

所属		氏名
土々呂分団	分団長	荒木 清
	副分団長	
	指導員	原 聡一郎
	指導員	羽田 中二
	第34部	土工 秀利
	第35部	古嶋 秀章
	第36部	齋藤 祐典
	第37部	齋藤、高嶋、須田、長反
	第38部	大原 正青
	第39部	
	第40部	圓山 淳

平成24年度 冬期移動消防学校 出欠確認表

所属		氏名
第4支団長	副団長	後藤 英昌

所属		氏名
支団本部		佐藤 浩司
北方 第1分団	分団長	
	指導員	
	第3部	橋倉 公年
	第4部	藤本 浩貴
	第12部	田辺 博貴
	第15部	黒田 佳春
	第18部	永田 勝男
北方 第2分団	分団長	甲斐 敏夫
	指導員	
	第1部	黒田 淳
	第2部	山本 一郎
	第6部	石田 浩一
	第7部	甲斐 心太
	第9部	井上 友和
	第13部	藤本 英美
	第17部	甲斐 敏春

平成24年度 冬期移動消防学校 出欠確認表

所属		氏名
北方 第3分団	分団長	
	指導員	
	第5部	甲斐 飛鳥
	第8部	甲斐 貴之
	第10部	山口 友剛
	第11部	西本 正直
	第14部	中丸 稔
	第16部	富山 秀樹

平成24年度 冬期移動消防学校 出欠確認表

所属		氏名
第5支団長	副団長	矢野 洋一

所属		氏名
支団本部		治久丸 文蔵
北川 第1分団	分団長	矢野 善五郎
	副分団長	矢野 博則
	第1部	早田 征弘
	第2部	小野 裕明
	第3部	宮崎 祐司
	第11部	荻 佑亮
	第13部	矢野 智章
	第16部	
北川 第2分団	分団長	一宮 昭二
	副分団長	小野 勝延
	第4部	小野 文也
	第5部	
	第12部	瀬尾 慎也 禰 晴寛
	第14部	赤城 公德
	第15部	
	第17部	柴田 竜
北川 第3分団	分団長	
	副分団長	甲斐 君博
	第6部	甲斐 貴史
	第7部	盛武 正嗣
	第8部	上田 茂泰
	第9部	古田 俊秀
	第10部	河野 誠

平成24年度 冬期移動消防学校 出欠確認表

所属		氏名
第6支団長	副団長	内田 勝成

所属		氏名
支団本部		宇戸田 大悟
北浦 第1分団	分団長	長野 助典
	副分団長	
	指導員	工藤 逸夫
	第1部	
	第5部	滝口 猛
	第6部	
	第7部	
	第10部	
北浦 第2分団	分団長	
	副分団長	
	指導員	渡辺 陽一郎
	第2部	
	第3部	
	第9部	岩崎 伸明
北浦 第3分団	分団長	六田 豊文
	副分団長	
	指導員	
	第4部	
	第8部	
	第11部	馬場 直